

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 **ここいる**

公表日 **令和7年2月28日**

回収率 **100%**

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	子どもたちが大きく身体を動かすのに十分なスペースの部屋は安全な広さを確保しています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用定員に適した職員数を確保しています。子どもの状態が変化したときも対応で切る職員体制を取っています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	活動内容によって部屋の構造や環境を変え子どもたちが目的によって活動の見通しが持てるようにしています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	建物内は毎日掃除をし、エアコンや照明は定期的に掃除や点検を行っています。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	子どもたち一人ひとりの状態を考慮し心身の状態に合った部屋を使えるようにしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	職員全員が参画し自由に意見を出し合える会議を毎月開催しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者向け評価表の結果をスタッフ会議で共有し貴重なご意見として職員の気付きにさせて頂き業務改善につなげていっています。	これからも保護者様からの意見を気軽に出して頂けるような関係性を築き子どもたちのよりより支援に繋げていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	日頃から職員同士が気づいた時に意見を共有できるような環境を作りすぐに話し合ったり環境を整えることが可能になるよう体制を整えています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		今後、第三者による外部評価を行うことを検討していきたいです。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	毎月、専門職がそれぞれの専門分野を活かした勉強会を開催し多職種が参加しています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	HPにて支援プログラムを公表しています。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	定期的にも必要な時期に専門的なアセスメントや保護者様との面談を行っています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	モニタリング、支援会議には子どもに関わるスタッフが会議を共有し意見を出し合いながら作成をしています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	支援会議の中で子どもの変化や成長面を常に共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	こどもの発達段階に必要なアセスメントを定期的に専門職員が行っています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	毎月の活動プログラムを前月までにスタッフで話し合います。子どもの発達の様子をスタッフ間で共有しながら固定化しないよう心がけています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	子どもの発達段階や状況に合わせて作業療法や言語療法を専門職が行っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝の会で保護者様からの子どもの状況や園での様子を共有し最終的な支援内容を決定しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	活動の様子を動画で録画しています。活動終了後、職員間で振り返りながら視聴話し合いを行います。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎回支援の記録を残して月末に保護者さまに配布しています。専門的支援加算を取得しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	モニタリングの日程は事前に決め、子どもに携わる職員が参加できるように調整をしています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援専門員以外に子どもの状況をよく理解してできる職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	地域の関係機関と連携し支援を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	児童発達支援に加え保育所等訪問支援を利用されているお子さんは情報共有を定期的に行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	0	0		今後は児童発達支援センターとして発信できる取組を増やしていきたいと思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	0	0	職員は積極的外部研修に参加しています。会社から補助金助成制度があります。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6		今後は地域の中で他のお子さん達と交流できる機会があるといいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	保護者様と面談や家庭訪問を積極的に行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3		保護者様の希望する家族支援の形を模索していきたいです。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に保護者様に体面にて行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	日頃から子どもの最善の利益を考えつつ家族の意見を尊重できるように保護者さまと話し合える面談を調整しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	保護者様にサインをしていただくときに支援内容の説明をしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	5		今後は保護者様の意向を確認し計画をしていきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	保護者様との相談体制についてはいつでも気軽に対応できるようにお声かけをしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	HPにて周知しております。	
	42	個人情報取扱に十分留意しているか。	9	0	十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	障害の特性に応じた配慮をしています。写真やカード、文字盤、ジェスチャーなどを利用しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		今後の課題として努力いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各マニュアルを作成して定期的に勉強会を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	毎月避難訓練、防犯訓練などを行っています。感染症対応マニュアルを作成しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時のアセスメントの時に服薬やてんかんの確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	契約時にアレルギーのあるお子さんについて保護者さまより対処法の確認をしております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	職員会議でヒヤリハットを共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止・身体拘束適正化委員会を定期的で開催しています。職員は県主催の虐待防止研修を受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	基本的に身体拘束は行っていません。	

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ここいる		
○保護者等評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者等評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職同士が連携し子どもの成長に関わっている。	子どもたちの成長や変化を職員同士で常に確認しながら支援プログラムを作成しフィードバックを行っている。	子どもたちがさらに安全、安心して過ごせる環境設定(愛着形成含む)に向けた勉強会などの職員教育体制。
2	子どもの成長に合わせた少人数(5名定員)での集団療育と個別療育(1対1)を設定している。	作業療法や言語療法を取り入れ、子ども自らが集団活動へ無理なく移行できる支援体制。	職員体制を充実し専門職の能力を組織員全体で共有していく。
3	保育所等訪問と連携した支援において安心して就学が迎えられる。	保護者様の意見や子どもの様子を常に確認し支援相談員と連携した体制体制。	子どもを取り巻く地域や医療機関とのさらなる連携により早期に子どもの特性を把握しながら問題解決に取り組む。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターとして発信出来ているサービスは少ないこと。	児童発達支援センターとして始動して1年目だった。今後は利用者様のニーズを把握していく。	利用者様、地域の皆様が求めているニーズ、課題を行政機関や相談支援事業所と連携をしながらセンターとして出来る事を取り組んでいきたい。
2	保護者同士で交流する機会が少ない。またきょうだい同士で交流できるサービスが少ない。	利用者様が求めているサービスを把握し事業所として出来る事を確認していく。	保護者様のスケジュールや事業所の職員体制を整える必要がある。
3	第三者における外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげしていない。	第三者による外部評価委を受ける機会が少なかった。	必要に応じて第三者の外部評価を受けることを会社として検討していきたい。